

# 公開講義

## 雨は夜更け過ぎに雪へと変わるのか？

時間：12：00～13：00

高橋 日出男教授（都市環境学部 地理環境学科）



冬季の降水が雨か雪かで社会的な影響は大きく異なりますが、雨・雪を分ける条件はきわめて微妙です。本講義では、南岸低気圧による大雪や関東南部で局所的に降る雪の事例から、首都圏の雪に関する仕掛けを考えます。

## 「聴く」ことの過去・現在・未来？ ——メディア技術史から感性をとらえる

時間：14：30～15：30

福田 貴成准教授（人文社会学部 人文学科）



「聴く」という生理学的かつ文化的ないとなみの現在の姿は、歴史を通じてどのように形成されてきたのでしょうか。またその未来に想定される姿とは？ その一端を、聴覚にかかわるメディア・テクノロジーとの相関において考えたいと思います。

## COVID-19 を構造生物学の観点から振り返る

時間：17：00～18：00

伊藤 隆教授（理学部 化学科）



蛋白質などの立体構造から生命現象のメカニズムを解明する「構造生物学」という手法は、新型コロナウイルス感染症に対して、スパイク蛋白質の解析をはじめとして幅広く用いられ大きな寄与をしてきました。「構造生物学」的知見をご紹介することで、この感染症について振り返りたいと思います。

11/4(土)

場所：1号館

110教室

『当たり前前に在るものを突き詰める。』というコンセプトを元に、都立大学が誇る先生方が授業をして下さいます。年に一度の貴重な機会ですので、ぜひ一度お越し下さい！